※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　書道Ⅰ（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

（１）書写能力の向上を図り、主体的に表現するための書道の基礎的な能力を身につけ伸ばす。
（２）書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を養い、書の伝統と文化についての理解を深める。
（３）書道の幅広い学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の知識・技能を身に付け表している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写と書道(書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体 「天」の字を使った書体の変遷 ・さまざまな篆書を使って書として表現された文字に興味を持つ	a：姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 b：国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c：書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品
	仮名(ひらがな)から漢字かな交じり	・淡墨によるひらがな連綿 ・漢字仮名交じりの書(ひらがなの連綿と漢字による表現)	a：平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 b：一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c：墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品
2学期	漢字の書(五書体の学習から1文字作品制	・五書体の学習 ・正式書体と略式書体 ・漢字一文字作品制作 ・漢字一文字作品表具 ・相互鑑賞会	a：逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 b：各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c：五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品

※令和４年度以降入学生用

3学期	漢字の書(硬筆)	・楷書と行書	a: 国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 b: 国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c: 国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度